

Ⅱ 平成24年度活動概況について<報告>

1. 会議の状況

3回の研究協議会(第1回は兼総会)と3回の研究委員会、役員代表者会を開催した。

年度内に第4回の研究協議会及び研究委員会が開催される。

各会議の開催日、主な議題等は以下のとおり。

	会議名	主な内容	開催日	時間	会場
総会・研究協議会	総会・第1回	年度計画の審議、決定	6月5日(火)	13:30 ~ 15:30	東京文化会館
	第2回	輸送申込状況、輸送作成基準等の確認他	10月1日(月)		私学会館
	第3回	輸送計画の確認・微調整と決定 JRとの意見交換	11月2日(金)		東京文化会館
	役員代表者会	年間活動の総括と次年度大綱検討	2月15日(金)		
	第4回	年間活動の総括と次年度計画	2月27日(水)		
研究委員会	第1回	調査研究内容の検討	6月5日(火)	11:00 ~ 12:30	東京文化会館
	第2回	データの分析・考察	10月1日(月)		私学会館
	第3回	データの分析・考察、まとめ	11月2日(金)		東京文化会館
	第4回	年間活動の総括と次年度計画	2月27日(水)		
第48回研究発表会		実践研究発表等	11月22日(木)	13:30 ~ 16:30	さいたま市・ブリランテ武蔵野
全修協	第29回全国修学旅行研究大会(修学旅行の理論・研究実践発表、講演)		7月30日(月)	13:30 ~ 16:30	東京・グランドヒル市ヶ谷
	三地区(関東・東海・近畿)修学旅行委員会連絡会(修学旅行に関する意見・情報交換)		平成25年 1月24日(木)	14:00 ~ 16:00	静岡県熱海市

※第3回を除く研究協議会の冒頭、講師を招いての講話を実施した。

2. 連合体計画輸送の状況

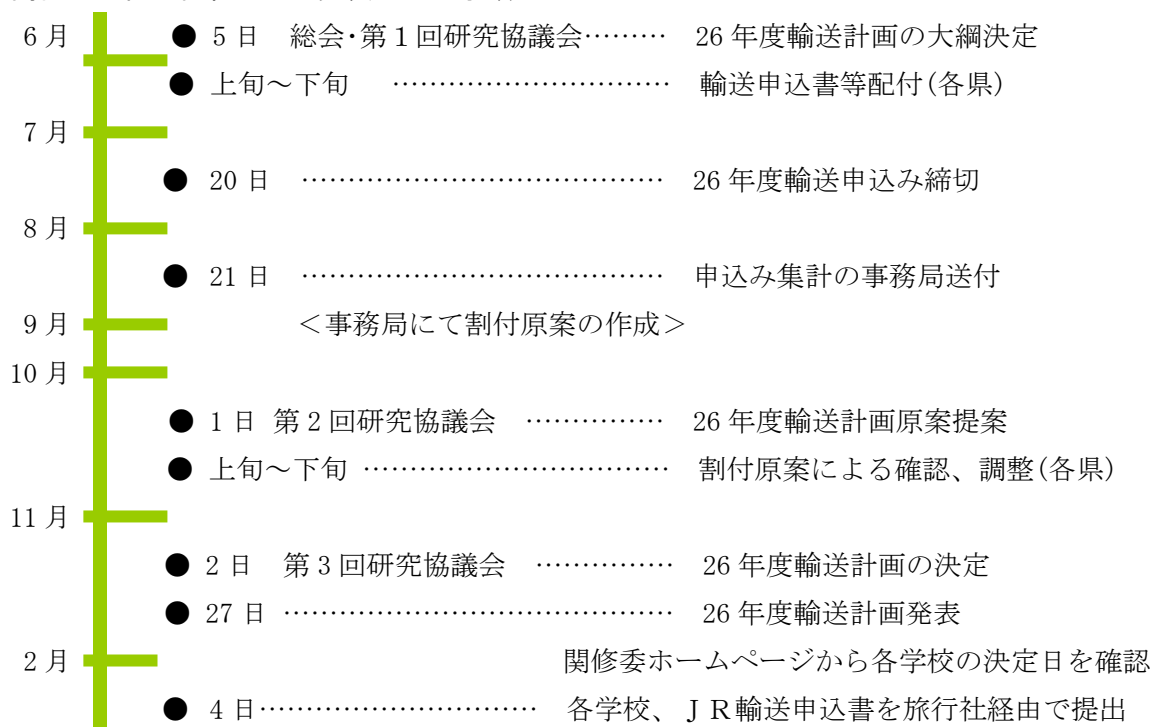
(1) 平成24年度計画輸送の実施

本年度修学旅行の専用列車(定期混乗を含む)は、関西方面へ春季3コース・秋季1コース、東北方面3コース(東北・秋田・山形新幹線利用)、信州方面1コース(長野新幹線利用)を5月8日(火)から9月28日(金)まで延べ151日間、785校115,703人の輸送を計画した。

5月8日、専用臨時電車の安全で快適な輸送を祈念して、東京駅東海道新幹線ホームで乗車各校の校長・代表生徒、関修委代表並びに関係者が出席し出発式を実施した。

(2) 平成 26 年度修学旅行専用列車の輸送計画の策定

1) 割付け・組み合わせから発表までの手順



(3) 輸送計画の確認と決定

平成 26 年度修学旅行専用列車の申込み数並びに組み合わせ原案の状況については、10月1日開催の第2回研究協議会に報告し、その後各県での確認及び調整の会議が以下の通り開催された。群馬県は事務局と連絡の上確認をいただいた。

- ・10月11日(木) 埼玉県修学旅行対策部 (ホテルブリランテ武蔵野)
- ・10月16日(水) 千葉県修学旅行委員会 (千葉県教育会館)
- ・10月18日(木) 茨城県合同修学旅行委員会 (ホテルレイクビュー水戸)
- ・10月21日(金) 栃木県修学旅行部 (宇都宮市瑞穂野地区市民センター)

① 割り付けの学校数と生徒数

平成 26 年度修学旅行専用列車の申込み状況

(単位：校・人・%)

県 コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計		対前年 増減(校)
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	
A	40	5,900	91	12,040	18	1,598	213	36,067	120	19,240	482	74,845	-5
B	80	9,936	16	1,354	15	617	37	3,946	26	2,919	174	18,772	-10
C	0	0	1	193	0	0	55	9,421	45	7,881	101	17,495	4
D広島	1	159	4	470	2	118	1	104	0	0	8	851	-6
秋季C	—	—	—	—	—	—	15	3,133	—	—	15	3,133	0
合計	121	15995	112	14057	35	2333	321	52671	191	30040	780	115,096	-17

東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形	0	0	0	0	0	0	0	0	1	180	1	180	0
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	6	637	6	637	1
上越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	7	817	7	817	1
総合計	121	15995	112	14057	35	2333	321	52671	198	30857	787	115913	-16
対前年	-2	-55	-2	-353	1	-99	-1	134	-2	-455	-6	-828	-55

② 割付け日程

1) コース別設定期間(出発日ベース)・人数・日数

A	B	C	D・広島	東北・山形	長野
5/8～7/9 63日間 74,845名 1日平均1,188名 1日最大1,241名 1日最少1,108名	5/28～6/14 18日間 18,772名 1日平均1,043名 1日最大1,067名 1日最少964名	春 5/8～6/28 52日間 17,495名 1日平均337名 秋 9/12～9/25 13日間 3,133名 1日平均241名	5/13～6/11 7日間 851名 1日1校 平均122名	5/21 1日間 180名 1日1校	5/14～6/4 4日間 637名 1日1校

③ 県別・コース別の設定期間(出発日基準)、人数、日数

コース	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
A	5/8～5/24 5,900名 16日間	5/8～6/16 12,040名 31日間	5/11～5/18 1,598名 8日間	5/25～7/9 36,067名 46日間	5/8～6/24 19,240名 44日間
B	5/28～6/14 9,936名 18日間	5/28～5/31 1,354名 4日間	6/10～6/12 617名 3日間	6/5～6/14 3,946名 10日間	5/28～6/6 2,919名 10日間
C	—	6/12 193名 1日間	—	5/8～6/15 9,421名 29日間	5/17～6/28 7,881名 27日間
D広島	159名 1日間	470名 4日間	118名 1日間	104名 1日間	—
秋C	—	—	—	9/12～9/25, 3,133名 13日間	—
東北・山形	—	—	—	—	5/21 180名 1日間
長野	—	—	—	—	5/14～6/4 637名 4日間

(4) 輸送計画の発表

11月27日(火)。同日正午に関修委ホームページに掲載。

(5) 各学校設定日の確認

平成26年度修学旅行新幹線輸送計画……設定日確認は関修委ホームページによって検索可能。

3. 研究調査活動について

(1) 研究委員会の活動状況

1) 会議の状況

第1回研究委員会	6月	5日	(東京国立博物館)	調査の方向・骨子の検討
第2回研究委員会	10月	1日	(私学会館)	調査データ等の考察
第3回研究委員会	11月	2日	(東京文化会館)	調査報告書のまとめ
第4回研究委員会	2月	27日	(東京文化会館)	来年度に向け調査の方向・内容の検討

2) 調査の内容

①平成24年度修学旅行の実施状況並びに「修学旅行での取り組み」について

- ア. 実施状況(実施状況、実施方面、訪問地、宿泊地、平均費用、不参加生徒数)
- イ. 広島コースの利用について
- ウ. 東日本大震災後の対応について
- エ. 修学旅行における安全対策」の取り組みに関する調査

(2) 第48回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会

- 1) 日 時：平成24年11月22日(木) 13時00分～16時10分
- 2) 会 場：ホテルブリランテ武蔵野(埼玉県さいたま市中央区)
- 3) 主 催：関東地区公立中学校修学旅行委員会、公益財団法人全国修学旅行研究協会
- 4) 開催要項：

1. 期 日	平成24年11月22日(木)		
2. 会 場	ホテルブリランテ武蔵野(2Fエメラルド)		
3. 主 催	関東地区公立中学校修学旅行委員会 公益財団法人全国修学旅行研究協会		
4. 後 援	教育委員会：埼玉県・さいたま市・茨城県・栃木県・群馬県・千葉県・千葉市 中学校長会：埼玉県・さいたま市・茨城県・栃木県・群馬県・千葉県・千葉市		
5. 主 題	「感性をはぐくむ修学旅行」		
6. 日 程			
(1) 受 付	13:00～13:30		
(2) 開会行事	13:30～13:55		
・開会のことば	関東地区公立中学校修学旅行委員会運営委員長	守屋 勝利	
・主催者あいさつ	関東地区公立中学校修学旅行委員会会長	近藤 誠	
	公益財団法人全国修学旅行研究協会理事長	岩瀬 正司	
・来賓祝辞	埼玉県教育委員会市町村支援部部長	大澤 利彦様	
	さいたま市教育委員会副教育長	稲葉 康久様	
・来賓及び講師紹介			

(3) 研究発表等	13:55～15:20		
・ 関東地区公立中学校修学旅行委員会の活動並びに研究調査報告		関東地区公立中学校修学旅行委員会研究委員長	根岸 次郎
・ 研究発表 1		「日本の伝統文化（お茶）と触れあう修学旅行」 入間市立金子中学校教諭	井上 悦弘
・ 休憩			
・ 研究発表 2		「豊かな心の育成を目指した修学旅行の取組」 — 広島修学旅行の実践をとおして — 熊谷市立中条中学校校長	島崎 一雄
(4) 研究協議	15:20～15:40		
(5) 指導講評	15:40～16:00	埼玉県教育局義務教育指導課指導主事	木村 孝之 様
(6) 閉会行事	16:00～16:10		
・ 閉会のことば		埼玉県中学校長会修学旅行委員会運営副委員長	守屋 勝利

5) 各県の参加人数(案)

茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	来賓・事務局	その他	合計
10名	7名	5名	217名	13名	9名	22名	283名

(3) 修学旅行学習資料「関西の旅」

- ・ 平成 14 年度、部分改訂後。逐次最新情報に更新。
- ・ 平成 25 年度修学旅行用として、平成 24 年 11 月中旬に発行所より見本を各学校に送付。

(4) JRとの意見交換について

11月2日(金)第3回研究協議会において、JR東海、JR東日本との意見交換会を開催した。事前に各県からの意見・要望事項をとりまとめ、JR関係箇所へ事前提出を行った。特に今年は、広島便の設定に関する事、ダイヤ設定に関する事など多くの意見が出された。

(5) 現地視察会

1) 奈良県修学旅行現地研修会

ア. 実施月日：平成24年8月5日(日)～6日(月) 2日間

イ. 参加者：11名(埼玉県4名、千葉県4名、事務局3名)

ウ. 視察内容：奈良県修学旅行充実のために

飛鳥地方— 橿原考古学研究所学芸員さんの案内による博物館等の案内、

ボランティアガイドによる案内明日香の里めぐり、奈良県立万葉文化館見学

平城京跡— 「平城京歴史館・遣唐使船視察」、奈良公園「燈花会」見学

奈良公園— 奈良公園鹿寄せ、興福寺中金堂復興現場見学(宮大工さんの説明)

2) 神戸市修学旅行現地研修会

ア. 実施月日：平成24年8月10日(金)～8月11日(土) 2日間

イ. 参加者：10名(埼玉県1名、千葉県5名、茨城県1名、栃木県1名、事務局2名)

ウ. 視察内容：震災学習と貿易港神戸の歴史と文化

震災学習——— 人と防災未来センター(防災未来センター内の活用について、施設見学)、

メリケン波止場、1・17 希望の灯り

宿泊施設の視察— クラウンプラザ神戸、メリケンパークオリエンタルホテル見学
神戸港クルーズ— ルミナス2 船上ディナー

近藤豊宣先生の講演（震災当時の中学校長）

市内班別学習—— ボランティアガイドによる北野地区、異人館等見学、ポートタワー
北野工房のまち（体験実習）、海洋博物館・カワサキワールド

その他——— 平清盛歴史館、ドラマ館見学、布引ハーブ園施設見学（ガイド付き）

3) 広島地域修学旅行現地研修会

ア. 実施月日：平成24年8月16日(木)～8月18日(土) 3日間

イ. 参加者：16名(埼玉県4名、千葉県5名、茨城県1名、栃木県3名、群馬県1名、事務局2名)

ウ. 視察内容：平和学習を教育的かつ効果的に学習できる施設・人材等

広島市、周辺地域学習施設、設備等

平和学習——— 平和祈念館、平和記念資料館、平和関連体験学習メニュー紹介

宿泊施設の視察— グランドプリンスホテル広島、ホテルグランビア広島見学

呉市内——— 大和ミュージアム、てつのクジラ館見学

広島市内——— 原爆ドームをはじめ広島美術館、広島街歩き、お好み焼き制作体験

廿日市市内—— 宮島街並み散策、厳島神社、宮島水族館見学

4. 陳情・要請活動について

(1) 平成25年度修学旅行費等の国庫補助金の増額陳情

1) 陳情先

文部科学大臣、同初等中等教育局長、同初等中等教育局児童生徒課長 7月26日(木)

財務大臣、財務省主計局長、同主計局文部科学省担当主計官 7月26日(木)

2) 陳情者(5団体連名)

関東地区公立中学校修学旅行委員会 東海三県中学校修学旅行委員会

近畿地区公立中学校修学旅行委員会 あおぞら号近畿地区運営協議会

公益財団法人全国修学旅行研究協会

3) 陳情内容

全国公立小・中学校在籍の要保護及び高度へき地(3級～5級地)の児童生徒を対象に
修学旅行費並びに校外学習費の国庫補助金の増額

平成25年度修学旅行費等の国庫補助金の陳情額と決定額(単価) (単位：円)

行事種別	学校種別	要望額	対前年増額	25年度決定額	
修学旅行	中学校	55,900	200	55,700	
	小学校	20,800	200	20,600	
校外学習	中学校	宿泊を伴う場合	5,940	100	5,840
		宿泊を伴わない場合	2,280	100	2,180
	小学校	宿泊を伴う場合	3,570	100	3,470
		宿泊を伴わない場合	1,610	100	1,510

***19～24年度までの対象人数**

校種	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
小学校	14,762人	13,884人	13,554人	13,424人	12,510人	13,475人
中学校	14,057人	16,678人	17,380人	16,829人	17,405人	18,525人

5. 他団体との連携

(1) 第29回全国修学旅行研究大会

- 1) 期 日：平成24年7月30日(火)
- 2) 会 場：ホテルグランドヒル市ヶ谷
- 3) 主 催：公益財団法人全国修学旅行研究協会
- 4) 内 容：大会主題「感性をはぐくむ修学旅行」

研究主題「学びの集大成を図る修学旅行 ～修学旅行の安全確保～」

①全体協議 パネルプロポジション（提案型ディスカッション）

「修学旅行の安全確保」（修学旅行の危機管理）

コーディネーター：中西 朗氏

パネラー：佐藤 浩樹氏（文科省） 垣花 誠氏（糸満高校教頭）

安次嶺織恵（KNT沖縄） 松本浩一（東京ディズニーランド）

萩原 豪人（臨床心理士）

②講 演 「文化を大切に作る社会の創造」

前文化庁長官・現玉川大学教育博物館長 玉井 日出夫氏

5)参加者：約160名

(2) 関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡会

各地区修学旅行委員会の代表者による意見・情報交換会

- ・主 催 公益財団法人全国修学旅行研究協会
- ・日 時 平成25年1月24日(木)14時～
- ・会 場 静岡県熱海市：大観荘
- ・出席者 各地域の修学旅行委員会代表者2名並びに全修協
関修委出席者…近藤会長、守屋運営委員長

6. その他

(1) 資料・情報について

修学旅行等の最新の資料・情報を各研究協議会・発表会等で提供した。

- ・東京都、神奈川県 of 輸送計画。神奈川県 of 修学旅行実施状況調査。

(2) 事務局の動向

事務局は、各研究協議会・研究委員会・研究発表会の運営に携わるとともに、各県の委員会(部)へ出席した。

また、JR東日本・JR東海とは随時訪問・連絡を行い、計画輸送がスムーズかつ確実に実施されるよう働きかけを行った。